

第42回全国障害者技能競技大会
<109>ワード・プロセッサ 競技課題 B

和文競技 「発見！ワクワク CHIBA」の作成（制限時間80分）

以下の指示に従い、別紙の文書を作成し、提出しなさい。

- 英数字はすべて半角で入力する。
- 指示以外の設定内容については、作成例（別紙）を参照し、最も適当なものを選択する。
- 改行位置や文字幅など、作成例との細かい差異は問わない。
- 図形やテキストボックスの行間については、作成例を参考に、適宜調整をする。
- 競技終了後に、作品を所定の用紙にプリントアウトする。

◆文書の設定

1. 新規文書を作成し、ファイルを保存する。

- 保存場所はデスクトップの「ワード・プロセッサ」フォルダとする。
- ファイル名は「選手番号 発見！ワクワク CHIBA」とする。
※選手番号とファイル名の間には全角1文字分のスペースを入れる。

2. 用紙の設定をする。

- 印刷面の余白は上30mm 下左右20mm程度にする。
- ヘッダーの右側（上から10mmの位置）に「選手番号 選手名」を入力する。
※選手番号と選手名の間には、全角1文字分のスペースを入れる。
- ページ番号をページの下部に設定する。
- ページ設定で、行数は「40行」を指定する。
- 段落の設定で、「1ページの行数を指定時に文字を行グリッド線に合わせる」をオフにする。

段落

インデントと行間隔 改ページと改行 体裁

全般

配置(G): 両端揃え

アウトラインレベル(O): 本文 既定で折りたたみ(E)

インデント

左(L): 0 字 最初の行(S): 幅(Y):

右(R): 0 字 (なし)

見開きページのインデント幅を設定する(M)

1 行の文字数を指定時に右のインデント幅を自動調整する(D)

間隔



段落前(B): 0 行 行間(N): 間隔(A):

段落後(E): 0 行 1 行

同じスタイルの場合は段落間にスペースを追加しない(C)

1 ページの行数を指定時に文字を行グリッド線に合わせる(W)

◆1 ページ目の設定

3. タイトル「発見！ワクワク CHIBA」をワードアートで作成する。
ワードアートのスタイルは、作成例を参考に、以下の設定を行う。
 - フォント：メイリオ、36ポイント、青系
 - 効果：文字の輪郭 白、影 青系、変形（形状）三角形：上向き
4. タイトルの左上に「ワード・プロセッサ¥和文素材」フォルダの中から「双眼鏡.png」を挿入し、作成例を参考に、位置とサイズを調整する。
5. 「首都圏にありながら、」～「発見してください。」までを入力し、以下の設定を行う。
 - 段落：左インデント 1 字、右インデント 1 字
 - 「そんな千葉県」～「ください。」部分：段落前の間隔 0.5 行
 - 「6つのエリア」：傍点
6. 「ワード・プロセッサ¥和文素材」フォルダの中から「エリア.png」を挿入し、作成例を参考に、位置とサイズを調整する。
7. 作成例を参考に、「 6つのエリア紹介」を作成する。
 - 図形：図形のテクスチャ くるみ、枠線の色 なし
 - フォント：ポップ体系、16ポイント、白、太字、影（黄色系）
 - 段落：均等割り付け
 - ※「」部分については、任意の記号を挿入すること。
8. 「ワード・プロセッサ¥和文素材」フォルダ内の「6つのエリア.txt」を使用して、テキストをファイルからテキストを挿入する。
挿入したテキストは、2段組み（境界線を引く）を設定し、作成例を参考に、以下の設定を行う。
 - 段落：最初の行インデント 字下げ 1 字、行間 固定値 12 ポイント
 - 改ページ：「北総」から 2 ページになるように改ページを挿入
 - 段区切り：「かずさ・臨海」から 2 段目になるように段区切りを挿入
9. 「8.」で挿入したテキストの見出し「東葛飾」「ベイエリア」「かずさ・臨海」を図形に変更する。
 - 図形：四角形：角度付き
 - 図形の色：紫系（東葛飾）、赤系（ベイエリア）、オレンジ系（かずさ・臨海）
 - 枠線：白、1.5ポイント、点線（丸）
 - 文字列の折り返し：四角形
 - フォント：ポップ体系、12ポイント、白
 - 段落：行間 固定値 12 ポイント、均等割り付け
10. 「ワード・プロセッサ¥和文素材」フォルダの中から「東京湾アクアライン.jpg」を挿入し、作成例を参考に、位置とサイズを調整する。

◆2 ページ目の設定

11. 「九十九里」から2段目になるように段区切りを挿入する。
12. 「北総」「九十九里」「南房総」は、「9.」と同様に図形に変更する。
 - 図形の色：青系（北総）、緑系（九十九里）、黄緑系（南房総）
 - ※その他、「9.」と同様の設定を行うこと。
13. 「ワード・プロセッサ等文素材」フォルダの中から「成田山新勝寺.jpg」を挿入し、作成例を参考に、位置とサイズを調整する。
14. 「△ おすすめスポット紹介」は、「7.」と同様の設定を行う。
15. 表を作成し、「犬吠埼」～「鋸山」までのデータを入力する。
作成例を参考に、以下の設定を行う。

●外側の表

- 罫線の種類：外枠 2.25 ポイント二重線（灰色系）、内側 1 ポイント実線（灰色系）
- 1 列目：セルの色（青系、黄緑系、オレンジ系）
 - ・「北総エリア」「南房総エリア」「かずさ・臨海エリア」：
ポップ体系、10.5 ポイント、白、中央揃え、均等割り付け（文字列の幅 9 文字）
 - ・「犬吠埼」「御宿」「鋸山」：
ゴシック体系、24 ポイント、中央揃え、ルビ
- 2 列目：フォント 10.5 ポイント、行間 固定値 14 ポイント
- 3 列目：画像：「ワード・プロセッサ等文素材」フォルダの中から以下の画像を使用
「犬吠岬.jpg」「月の沙漠.jpg」「鋸山.jpg」

●内側の表

- 罫線の種類：1 ポイント実線（黒）、0.5 ポイント破線（黒）
- フォント 10.5 ポイント、3 行 2 列目に簡条書きを設定

青系 黄緑系 オレンジ系	北 総 エリア	犬吠埼は、太平洋に突き出た周囲 500m 程の岬で三方を水に囲まれた台地で「日本で最も早い初日の出（山頂・離島を除く）」を拝むことができます。		2.25pt (灰色)					
	いぬぼうさき 犬吠埼			1pt (灰色)					
	南 房 総 エリア	童謡「月の沙漠」は御宿の海岸がモデルとなりました。		1pt (黒)					
	おんじゆく 御宿	<table border="1"> <tr> <td>施設名</td> <td>月の沙漠記念公園</td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td>千葉県御宿町六軒町 505-1</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td> <input checked="" type="checkbox"/> 駐車場あり <input checked="" type="checkbox"/> トイレあり </td> </tr> </table>	施設名	月の沙漠記念公園	所在地	千葉県御宿町六軒町 505-1	その他	<input checked="" type="checkbox"/> 駐車場あり <input checked="" type="checkbox"/> トイレあり	
施設名	月の沙漠記念公園								
所在地	千葉県御宿町六軒町 505-1								
その他	<input checked="" type="checkbox"/> 駐車場あり <input checked="" type="checkbox"/> トイレあり								
かづさ・臨海エリア	標高 329.4m。かつては「房州石」と呼ばれる良質な石材の産地で、切り出した山肌の岩が鋸の歯のように見えたことから「鋸山」と呼ばれるようになりました。鋸山展望台は眺望が素晴らしく東京湾に面しているため富士山や三浦半島などの大パノラマです。		簡条書き						

◆ 3 ページ目の設定

16. 「**特産品・名所紹介**」は、「7.」と同様の設定を行う。
17. 「海の幸や」～「ご紹介！」までを入力し、以下の設定を行う。
- 段落：左インデント 4 字、右インデント 4 字、段落罫線 6 ポイント（青系）
 - フォント：メイリオ、11 ポイント、青系、太字
18. 作成例を参考に、図を作成する。
- 画像：「ワード・プロセッサ[※]和文素材」フォルダの中から以下の画像を使用
「エリア map.png」「醤油.png」「梨.png」「あさり.png」「うちわ.png」「城.png」「寺.png」
「飛行機.png」「灯台.png」「落花生.png」「七夕.png」「びわ.png」「伊ワシ.png」「伊勢海老.png」
 - 図形：
 - ・「醤油」～「びわ」部分：図形の枠線の色 灰色系
 - ・「伊ワシ」「伊勢海老」：図形の枠線の色 青系
 - ・「発見！ ワクワク CHIBA」部分：図形の色 黒、透過性 75%
 - フォント：
 - ・「醤油」～「伊勢海老」タイトル部分：メイリオ、10.5 ポイント、太字
 - ・「野田市」～「御宿町」市町村名：メイリオ、9 ポイント、青系、太字、箇条書き
※必要に応じて、行間や行頭文字を調整
 - ・「生産高全国トップ」～「三重県と並び、水揚げ量全国トップクラス」説明部分
：メイリオ、9 ポイント
 - ・「発見！ ワクワク CHIBA」部分：メイリオ、28 ポイント、太字
影（外側 オフセット：下）
※「発見！ ワクワク」部分に割注を設定
19. 作成例を参考に、地図を作成する。

◆ 文書全体の調整

20. 指示に提示されていない事柄については、作成例と同様になるように編集する。
編集後は、上書き保存する。

第42回全国障害者技能競技大会
<109>ワード・プロセッサ 競技課題 B

英文競技 「Chiba」 Word ファイル、PDF ファイルの作成 (制限時間 60分)

以下の指示に従い、別紙の文書を作成し、提出しなさい。

- 以下の番号は、完成した文書の各セクションの○付番号と対応している。
- 指示以外の設定内容については、作成例（別紙）を参照し、最も適当なものを選択する。
- 改行位置や文字幅など、作成例との細かい差異は問わない。
- 競技終了後に、作品を所定の用紙にプリントアウトする。

◆文書の設定

1. 新規文書を作成し、「ワード・プロセッサ」フォルダに「選手番号 Chiba」という名前で保存する。
※選手番号とファイル名の間には半角 1 文字分のスペースを入れること。
2. 用紙サイズ：A4、マージン 25.4mm (1 インチ)、とじしろ 0 に設定する。
3. フッターに、作成例の通り、競技者名（ローマ字）、ページ番号、本日の日付を入力し、下からのフッター位置 15mm に設定する。
■フォント：Segoe UI、サイズ：8
4. ページ罫線を引く。色：オレンジ系、絵柄：完成例を参考に、任意の絵柄を設定する。

◆1 ページ目の設定

5. ワードアート「Welcome! To Chiba Prefecture!」を挿入する。
■フォント：Tahoma、サイズ：28、太字、色：薄いオレンジ系、輪郭の色：濃いオレンジ系
■効果：反射（中）：8pt オフセット
6. 見出し部分「Introduction of」は、以下の通り設定する。
■フォント：Tahoma、サイズ：14
■下罫線 6pt、灰色系
■網かけ：15%
7. 見出し部分「Chiba」は、図形で作成し、以下の通り設定する。
■図形の枠線：灰色系、1.5pt
■フォント：Arial サイズ：14、太字
色：青系 (C)、紫系 (h)、赤系 (i)、オレンジ系 (b)、緑系 (a)

8. 本文を入力する。フォントと段落は、以下の通り設定する。
 - フォント：Segoe UI、サイズ：10
 - 段落：行間1行、両端揃え
 - ※他の箇所についてもフォントの指示がない限り、上記の設定を適用すること。
9. 文頭にドロップキャップを設定する。
 - ドロップする行数：4
 - フォント：文字の色 白、太字、文字の輪郭の色 オレンジ系、輪郭の太さ 2.25pt
10. 「ワード・プロセッサ¥英文素材」フォルダ内の「Japan.jpg」を挿入する。
※作成例の通り、サイズを調整して配置すること。
11. 図形とテキストボックスを挿入し、作成例の通り、設定する。
 - 円 図形の色：なし、枠線の色：赤系、6pt
 - テキストボックス Arial、サイズ：18、太字、色：赤系、光彩：白、8pt、透明度 0%

◆2 ページ目の設定

12. 「Chiba Rich Food Culture」は、「6.」「7.」と同様の設定を行う。
13. 「ワード・プロセッサ¥英文素材」フォルダ内の「FoodCulture.txt」を使用して、テキストをファイルから挿入する。
挿入したテキストは「8.」の「本文を入力」と同様の書式を適用する。
14. 見出し部分「Seafood」、「Vegetables and Fruits」、「Meat and Dairy Products」、「Local Dishes of Chiba」「Others」は、以下の通り設定する。
 - フォント：Arial、サイズ：12、太字、下線、色：赤系
 - 段落：段落前の間隔 0.5行
15. 本文部分「Chiba Prefecture～products.」「Blessed with～industry」「Chiba Prefecture's～Chiba.」「The Boso～Prefecture.」「The production～Chiba」は、以下の通り設定する。
 - 段落：左インデント 1字、右インデント 1字、行間 固定値 14pt
16. 「peanuts」に、脚注「About 80% of the peanuts produced in Japan are produced in Chiba Prefecture.」を挿入する。
 - 脚注のフォント：Tahoma、サイズ：8

17. 右図のデータシートを参考に、円グラフを作成する。

■タイトル フォント：Tahoma、サイズ：10.5、太字、斜体、背景色：白

■ラベル フォント：Tahoma、サイズ：9、位置：外部

※Chibaのみ サイズ11、赤系、太字

■凡例 フォント：Tahoma、サイズ：9、位置：下

■グラフの背景色：灰色系

■Chiba部分の色：オレンジ系

※他の地域は任意の色を設定すること。

	1	2
1		Peanut production
2	Chiba	11000
3	Ibaraki	1270
4	Others	930

◆3 ページ目の設定

18. 「Chiba Areas」は、「6.」「7.」と同様の設定を行う。

19. 「ワード・プロセッサ¥英文素材」フォルダ内の「Chiba.jpg」を挿入する。

※作成例の通り、サイズを調整して配置すること。

20. 図形を挿入し、作成例の通り、設定する。

■円（4種類） 図形の色：グラデーション（青系、赤系、オレンジ系、紫系）

■フォント Arial、色：白、サイズ：10、太字、光彩の色：黒

21. 「ワード・プロセッサ¥英文素材」フォルダ内の「Areas.txt」を使用して、テキストをファイルから挿入する。

挿入したテキストは「8.」の「本文を入力」と同様の書式を適用する。

22. 見出し部分「Bay and Tokatsu Area」は、以下の通り設定する。

■フォント：Arial、サイズ：12、太字、色：青系

■段落：右揃え

23. 図形を挿入し、作成例の通り、設定する。

■円 図形の色：グラデーション（青系）、テキストの背面へ移動

■線 色：青系

24. 表を挿入し、作成例の通り、設定する。

■罫線の色：灰色系、上罫線・下罫線：3pt、縦罫線（内側のみ）：1pt

■セルの色：「Address」「Parking」部分 灰色系

■画像：「ワード・プロセッサ¥英文素材」フォルダ内の「MakuhariMesse.jpg」を挿入

◆4 ページ目の設定

25. 見出し部分「Hokuso Area」、「Kujukuri Area」、「Kazusa-Minami-Boso Area」は、「22.」「23.」と同様の設定を行う。

■フォント、円、線の色：赤系、オレンジ系、紫系

26. 各エリアの表は「24.」と同様の設定を行う。

■画像：「Sawara.jpg」、「KujukuriBeach.jpg」、「YoroVally.jpg」を挿入

◆文書全体の調整

27. 指示されていない部分についても、作成例と同様になるように編集し、上書き保存する。

28. 完成した文書を PDF 形式で保存する。

■ファイル名：「選手番号 Chiba」